

真珠母貝幼生の宿主魚としての養殖ナマズの評価

佐野聡哉・鈴木隆夫・根本守仁

1. 目的

真珠母貝の種苗生産においては、グロキディウム幼生の宿主となる魚の確保は極めて重要である。宿主になりうる魚種は限られており、これまで主にヨシノボリとニジマスが用いられてきたが、ヨシノボリは漁獲が減って入手が難しいこと、ニジマスは適水温が低く扱いにくいことから、新たな宿主魚が求められている。近年、ナマズが宿主として利用できる可能性が明らかになったことから、ナマズを真珠養殖業者に試験的に提供し、その有用性についてアンケートを実施した。

2. 方法

令和4年4月25日から5月16日に、ナマ

ズの提供を希望する6軒の真珠養殖業者に対して、水産試験場で種苗生産・育成したナマズ469尾、59.12kg（平均体重126g）をのべ13回に分けて提供した。それらの真珠養殖業者に対してアンケートを行い、ナマズの宿主魚としての評価を調査した。

3. 結果

真珠養殖業者からのアンケート結果において記載されていたナマズの宿主魚としての長所と短所を表に示す。長所として、脱離稚貝が多く得られることや安定供給などが挙げられた。短所として、傷やミズカビに対する弱さや、エラの寄生状態の見にくさなどが挙げられた。

表 真珠養殖業者からのアンケート回答における主なコメント

業者	コメント
A	長所 丁寧な扱えば脱離稚貝が多く得られる。 ニジマスと異なり23°C以上でも使えるのが良い。
	短所 水温が低いとミズカビが生えやすいように思う。 水槽から跳ねて飛び出すので注意が必要。
B	長所 従来の魚よりも幼生の付着量を多くすることができる。 養殖魚は必要な時に入手できるので、寄生作業を失敗してもやり直しが可能。
	短所 1尾の健康状態が悪いと、他の個体にも影響しやすい。
C	長所 多くの脱離稚貝が得られる。 水温が低い時は扱いやすく、死亡率も低い。
	短所 寄生状態を確認するためにナマズの口に指を入れるときに ナマズの歯で指が傷つくことがある。
D	長所 魚体を傷つけないよう注意すれば、多量の脱離稚貝が得られる。
	短所 傷に弱い。
E	長所 養殖魚なので、必要な時に入手できる。
	短所 ナマズが生きた状態でエラを見るのが難しいので、寄生状態の確認が難しい。
F	短所 寄生状態の確認が難しい。

※趣旨を変えない範囲で、読みやすくなるように回答の文章を一部修正した。